

# おのうえ一彦通信

おのうえ一彦後援会  
〒939-2251 富山市下大久保 1978-17  
TEL・FAX：076-467-5735  
<http://www.onouekazuhiko.com>

令和 5 年 2 月 発行

会報 No.34

## ごあいさつ

立春の候、皆さまには、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

日ごろは、私の活動に対しまして、ご理解とご支援を賜り心より感謝申し上げます。

現地時間の11月20日に開幕したサッカーワールドカップですが、日本代表（FIFAランキング24位）は予選リーグでFIFAランキング7位のスペインと同じく11位のドイツを破って、Eグループ首位で通過しました。決勝トーナメントは、FIFAランキング12位のクロアチアとなり、現地時間の12月5日にキックオフ、前半43分に前田選手がゴールを決めて先制しましたが、後半10分に相手チームにゴールを決められ、1対1の同点のまま試合が終わり、延長戦でも勝負が決まらず、PK戦となりました。残念ながら日本代表は、1対3で負けましたが、今回のワールドカップでは、格上のチームをいずれも逆転で破り、決勝に進むという、快挙を成し遂げ、新型コロナウイルス感染症等で疲弊した日本国民に、勇気と希望を与えてくれたと思います。4年後が楽しみです。

さて、令和4年12月定例会市議会が11月30日（水）から12月20日（火）までの21日間の会期で開催され、予算案件13件、条例案件13件、契約案件1件、その他の議決案件2件、承認案件1件、報告案件3件など、全ての議案が可決承認されました。また、令和3年度決算についても、全ての案件が認定されました。

これからも、富山市および大沢野地域がますます発展しますよう一生懸命活動して参りますので、引き続きご支援賜りますよう、お願い致します。

## 令和4年12月定例会 一般質問概要

### 1. 家庭ごみの有料化について

Q：家庭ごみの有料化は、ごみの減量化が主たる目的との理解で良いのか

A：本市では、分別回収によるリサイクルに重点を置いて、ごみの減量化・資源化に取り組んできたが、本市の家庭ごみの排出量は、全国平均を上回る状況が続いており、ごみの減量化は十分に進んでいない状況にある。このような状況を踏まえ、更なるごみの減量化を図るため、全国的にも導入が進み、実際に減量の効果が認められている家庭ごみの有料化について導入を検討することとした。



Q：有料化を実施する場合、どのくらいの料金を想定しているのか問う

A：本年4月現在においては、全国ですでに家庭ごみの有料化を導入している自治体は1,127市町村あり、そのうちには19の中核市が含まれ、本市が有料化を導入する場合には、中核市の状況が参考になる。中核市における料金については、ごみ袋1リットル当たり、0.6～2円の範囲内で設定されている。そのうち1円としている市が7市と最も多く、1円～2円以下としている市が6市となっている。また、有料化を導入している全国の自治体を対象にした国のアンケート調査によると、料金が高いほどごみの減量効果は高いものの、その反面、市民の負担感が大きい傾向となっている。これらのことから、本市における料金については、現時点では、他の中核市が設定する1リットル当たり0.6～2円の範囲内になるものと想定しているが、ごみの減量効果や市民負担などを勘案しながら慎重に検討していく。

## 2. 障がい者福祉施策について

Q：授業等をとおした、障がいのある人への理解促進のための取り組みについて問う

A：本市の小中学校では、障がいのある人もない人も共に学ぶインクルーシブ教育の理念のもと、ともに生きる社会を形成していくための福祉教育を様々な教育機会をとおして行っている。例えば、小学校の国語科や社会科の学習では、ユニバーサルデザインについて、中学校の社会科や英語科、家庭科の学習では、共生社会の実現について学んでいる。また、総合的な学習の時間では、福祉体験活動として、車いすの乗車体験や段差がある場所での車いすの移動を補助する体験、アイマスクをして仲間に手を引かれながら構内を歩く、視覚障がい者の疑似体験などを行い、障がいのある方の困難を体験的に学ぶ学習を行っている。

Q：富山市ファミリーパークでの障がい者に対する取り組みについて問う

A：富山市ファミリーパークでは、発達障害かいや自閉症スペクトラム障害のある方だけでなく、様々な障がいや慢性疾患、難病をお持ちの子どもとそのご家族を無料で招待し、楽しいひと時を過ごしてもらうことを目的として、ドリームナイトアットザズーという取り組みを実施している。この取り組みは、1996年にオランダのロッテルダム動物園が、小児がんを患っている子どもたちとその家族を招待したことから始まった国際的な活動で、世界的に、毎年6月～8月頃に実施されており、本年4月現在、世界39か国で294の動物園や水族館、我が国では27施設が参加している。本市においても、この活動の趣旨に賛同し、平成26年から、毎年7月に実施しており、9回目となる本年度は、7月2日（土）の閉園後に実施し、480名の方に参加いただいた。

## 大沢野地域複合施設について

# 「大沢野会館」4月1日供用開始

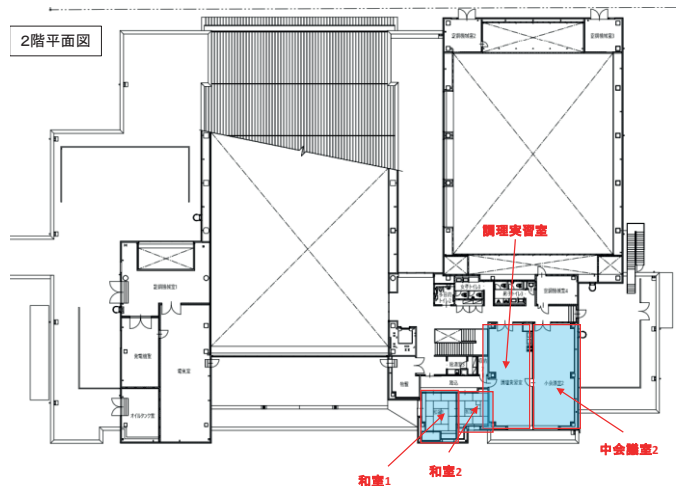
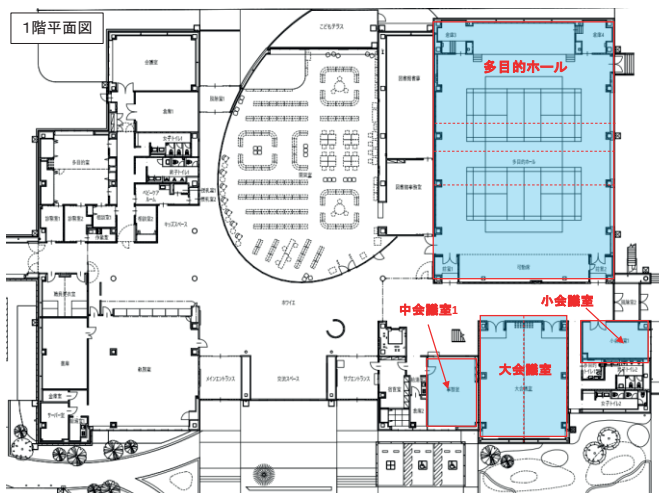
3月31日（金）オープニングセレモニー開催

※すでに「大沢野会館」利用予約を受け付けています。大沢野生涯学習センターにお問い合わせください。

4月30日（日）13:30 会場 14:00 会館

「大沢野会館」に行ってみよう～開館記念イベント～

※詳細は、イベントチラシを参照してください。



※ 空色に着色してある部屋と中央の図書館が一般使用可能な場所です。

～地域の皆さまからの多くの声をお聞かせください！～